

[お詫びと訂正]

本誌 143 ページ 図 4 に誤りがございました。正しい図は下記のとおりです。

読者の皆様および筆者の先生にご迷惑をお掛けしましたことを深くお詫びするとともに、ここに訂正させていただきます。

[正しい図]

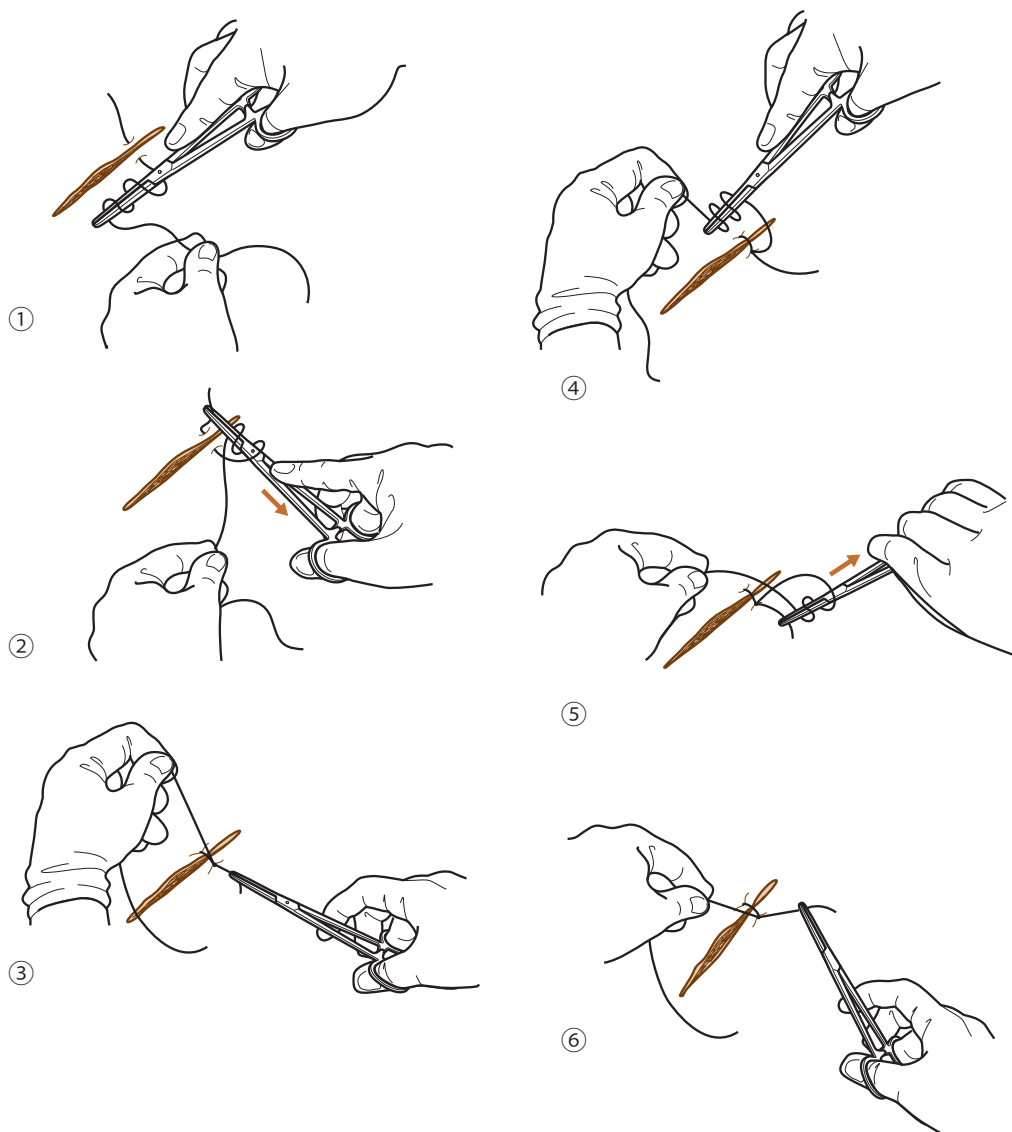


図 4 器械結びの方法 (文献 4 をもとに作成)

- ① 右手に持針器、左手に糸を持ち、持針器に時計回りに糸を 2 回巻きつける。
 - ② 持針器の先で反対の糸をつかみ、持針器を右に引っ張る。
 - ③ 左手は糸を軽く引き、右手は持針器を固定するつもりで糸を引っ張りすぎない。結び目は縫合線の一側に置く。
 - ④ 持針器に反時計回りに糸を 1 回巻きつける。
 - ⑤ 持針器の先で反対の糸をつかむ。
 - ⑥ 持針器を右に持っていき固定し、左手で糸を軽く左へ引っ張る。
- ※ 締めるときには糸を持った手で引っ張り、持針器を持ったほうの手は引っ張りすぎないこと。引っ張りすぎると糸がきつくなり suture mark (縫い跡) が残ることがある。